

# 特定外来生物ってなに？

人間により他の地域から持ち込まれた生き物のうち、自然環境や人の生命・身体、農作物などに被害を与える、または与える恐れのあるもので「外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）」により指定された生物のことです。主な特定外来生物にはオオハンゴンソウ、アレチウリ、オオクチバス（ブラックバス）、ウシガエルなどが挙げられます。特定外来生物は次の行為が原則禁止されています。

**× 原則禁止 …… 飼育 栽培 運搬 輸入 保管 譲渡 野外に放つ など**

## 植物

## 市内で見られる特定外来生物

## 動物

緊急対策外来種

### オオキンケイギク



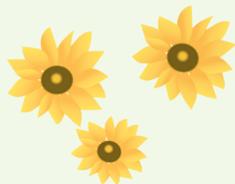
北米原産でキク科の多年生草本で高さは30～70cm。5月～7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせる。良く生育することからかつては法面緑化などに利用されていた。一度定着すると在来の野草の生育場所を奪い、周囲の景観を一変させてしまう性質を持っている。

緊急対策外来種

### オオハンゴンソウ



キク科の多年生草本で高さは0.5m～3m。7月～9月にかけて咲く。明治中期に観賞用として日本に入り、野生化した。



緊急対策外来種

### アレチウリ



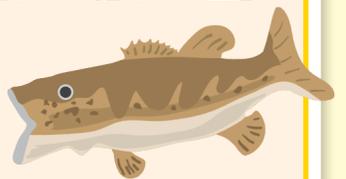
ウリ科の一年生草本のツル性植物で、花は8月～10月に咲き、葉の長さは数m～十数mで、他の植物に巻きついて覆い、成長を抑える。ハート型の五角形の葉がツルから1本ずつ生えている。

緊急対策外来種

### オオクチバス(ブラックバス)



通称ブラックバス。全長が30～50cm。口が大きく上あごの後端が目の後縁よりも後方に達する。体側から背にかけて不規則な暗斑がある。腹側は黄味を帯びた白色。湖沼やため池などに生息



する。オオクチバスの侵入後に在来魚の種数が減少したり、個体数が激減する。

緊急対策外来種

### ウシガエル



食用として、外国から導入された。体長が15～18cm、重さが500～600gほどになる。

大型で極めて捕食性が強い。昆虫やザリガニの他、ヘビや魚類を捕食する。夜に活発に活動し、雄はウシのような鳴き声を発する。



重点対策外来種

### セイタカアワダチソウ



セイタカアワダチソウは、主に観賞用として明治30年頃に日本に入り現在は野生化して河川敷や空き地で見られる。花は10月～11月に咲く。繁殖力がとても強く、他の植物の成長を抑えて繁殖するといわれる。

上記以外の生態系被害防止外来種リストに掲載の植物



これらの植物が自宅の庭など(自己所有地)に繁茂している場合には、できる範囲での駆除にご協力ください。

## 植物の駆除方法

- ①根から抜き取る。種ができる前に地際で刈り取る。
- ②乾燥させ枯死した後に指定ごみ袋に入れて可燃ごみに出す。